

現代社会において高齢化・少子化・グローバル化等の社会的な課題が山積する中で、それらの社会的な課題を解決することが求められている。それらの課題の解決には、新しい発想のビジネスが求められていて、それを実現するためには、高度なIT技術の活用が不可欠です。

企業も社会的な課題を解決するための新たなビジネスチャンスを探っているものの、現状はほとんどの技術者が従来型ビジネスの人材であり、高度なIT技術をもった新しいビジネスに対応できる人材の育成はどの企業においても急務であるといえます。

そこで、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）では、厚生労働省の「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」を受託し、「高度IT技術を活用した創造プログラム」として各社の人材育成を促進いたします。

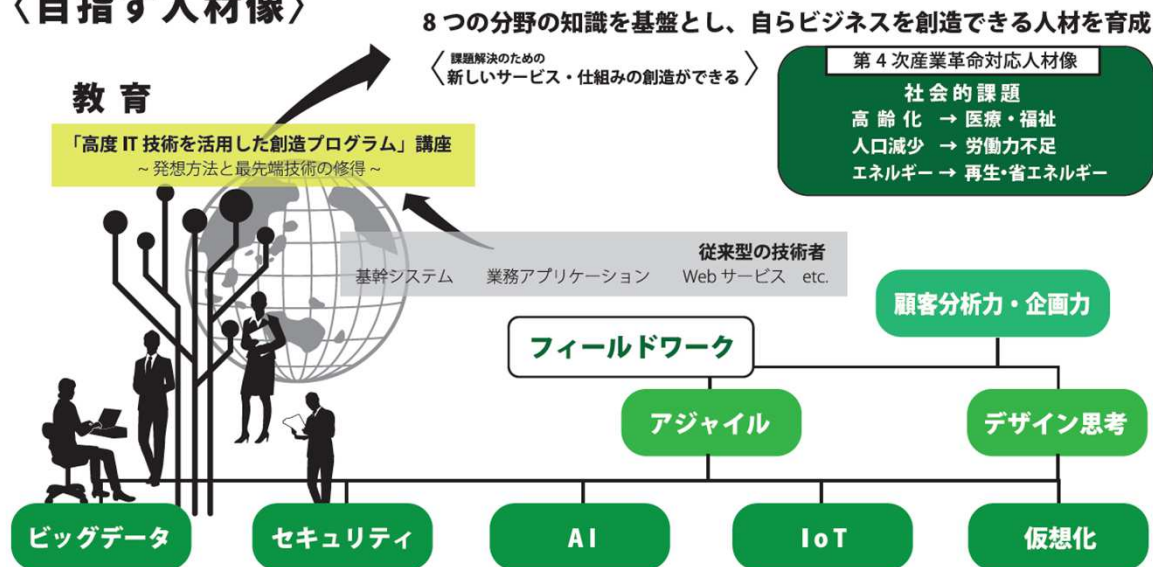
<講座の目的>

第4次産業革命において必須であるIoT、AIやビッグデータに代表されるIT系の技術を駆使し、新たな発想（サービス企画・デザイン思考）でビジネスを創造できる高度ITエンジニアを育成する。

<講座の特徴>

1. 実習や実機演習中心で体験して理解する講座
2. 各分野のプロフェッショナルが作成したカリキュラム、テキストを使用する講座
3. 実際に最先端で活動されている企業を訪れるフィールドワークを実施する講座
4. イブニングや土日の講習開催で業務への影響が最小限で済むよう配慮
5. キャリアコンサルタントによる受講後の無料アドバイス

<目指す人材像>



<講座概要>

- 【期 間】 平成30年6月23日（土）～平成30年9月21日（金）
- 【会 場】 ウチダ人材開発センタ 研修室 東京都墨田区横網1-6-1 KFCビル7F
- 【講座時間】 e-learning：16時間 講座：28時間 演習：64時間 フィールドワーク：12時間
- 【費 用】 98,000円（税別）／1名様
- 【定 員】 20名様（先着順）
- 【対 象】 IT技術者としての経験が3年以上、ICTの基礎知識を持っていること
- 【日 程】 中面をご覧ください

<講座の科目と主な講師略歴>

講座名	内容		
デザイン思考	イノベティブな商品開発において重要な「共感→問題定義→創造→試作→検証」という流れを学びながら、素早いプロトタイプ作りなどに取り組み、自主性や創造性に働きかけ、イノベーションを起こすには何が必要なのかを考えるきっかけをつかむ。		
	講師	樋口 匠 氏	略歴 株式会社Gloable 代表 主にワークショップ型の研修・授業の設計から講師を担当
仮想化	ハイパーバイザー型仮想化とコンテナ型仮想化、両者の違いを学び、用途に応じた仮想化のタイプ、サービスを選択・構築できるようになる。		
	講師	越智 徹 氏	略歴 大阪工業大学 情報センター専任講師 主にセンサカメラ映像の特徴検知による障害物予測・検知の研究
ビッグデータ	IoT、AIに欠かせないビッグデータについて学ぶ。また、ワークショップを通じ、その具体的な活用方法について考える。		
	講師	小山 智久 氏	略歴 大手SIerに勤務後、ビッグデータ統合化ソリューション企業のKeepdata社で主にコンサルテーションに従事
AI基礎	最新のAI技術である機械学習、DeepLearningを学び、実際のAIアプリケーションを作成する。		
	講師	出木原 裕順 氏	略歴 広島修道大学 准教授 主にニューラルネットワークに関する研究
IoT活用	データ収集技術からデータ統合、クラウドサービスに至る最新の技法を学び、スキル強化を図る。		
	講師	越智 徹 氏	略歴 大阪工業大学 情報センター専任講師 主にセンサカメラ映像の特徴検知による障害物予測・検知の研究
セキュリティ	セキュリティの「知識」と「技能」の基礎を棚卸しし、高度IT技術者として期待される役割にふさわしい情報セキュリティ実践のための具体的な技術や手法を学習する。		
	講師	鈴木 重毅 氏	略歴 大手研修会社を退職後、フリーのシステムエンジニア、研修講師として活動
アジャイル開発	従来のウォーターフォール型開発経験者がアジャイル開発やDevOpsの新世界に移行できる様に基本的な考え方（思想）を含めた正しい理解を得る知識講座であり、パラダイムシフトを起こせる気付きを得る。		
	講師	戸田 孝一郎 氏	略歴 大手コンピュータメーカーを退職後、(株)戦略スタッフ・サービス 代表 (社) TPS&TMS検定協会 理事
顧客分析・企画力養成	高度IT技術を活用し、新規ビジネスを企画、顧客提案出来る人材を育成する。		
	講師	矢吹 博和 氏	略歴 大手Sier退職後、研修会社を経て、株式会社ラーニングプロセス 代表取締役 NPO法人アイデア創発コミュニティ推進機構 代表理事
フィールドワーク	現場で体感し、実践している方々とのコミュニケーションを通して理解を深める。 KDDI株式会社 アジャイル開発センター 様 さくらインターネット株式会社 様 株式会社ラック 様		

<講座の修了要件> – 以下の基準をすべて満たした方に修了証を発行致します。 –

	実施タイミング	指標	合格基準
1	–	出席率	80%以上
2	各講座	e-learningテスト	100%
3	各講座	理解度確認テスト	80%以上
4	各講座	ループリック仕様のアンケート	～ができる(下に例示)

ループリック 参考例

合格基準

自己評価		1	2	3
理解力	内容を理解している	メソッドのメリット・デメリットを理解している。	メリット・デメリットをメンバーに説明できる。	メリット・デメリットについて自分の考えを説明できる
応用力	現場で活用できる	状況に応じてメリット・デメリットを説明できる。	状況にあったメソッドを選択できる。	状況にあったメソッドで課題解決に取り組める。

修了証 (イメージ)



<講座の日程>

科目	合計時間	Eラーニング (16時間)	講義 (44時間)	演習 (64時間) フィールドワーク (12時間)
オリエンテーション	2時間	–	6月23日 (土) 10:00~12:00	
デザイン思考	8時間	2時間		6月30日 (土) 13:00~17:00
仮想化	12時間	2時間	7月 6日 (金) 15:00~19:00	7月 7日 (土) 10:00~17:00
ビッグデータ	19時間	3時間	7月11日 (水) 18:00~20:00 7月13日 (金) 18:00~20:00 7月17日 (火) 18:00~20:00 7月25日 (水) 18:00~20:00	7月20日 (金) 18:00~20:00 7月21日 (土) 10:00~17:00
AI基礎	12時間	2時間	8月 4日 (土) 15:00~19:00	8月5日 (日) 10:00~17:00
IoT活用	12時間	2時間	8月10日 (金) 15:00~19:00	8月11日 (土) 10:00~17:00
セキュリティ	11時間	3時間	8月24日 (金) 18:00~20:00	8月25日 (土) 10:00~17:00
アジャイル開発	12時間	2時間	8月31日 (金) 18:00~20:00 9月 5日 (水) 18:00~20:00	9月1日 (土) 10:00~17:00
顧客分析 企画力養成	22時間	–	9月 8日 (土) 10:00~17:00 9月10日 (月) 18:00~20:00 9月14日 (金) 18:00~20:00	9月12日 (水) 18:00~20:00 9月15日 (土) 10:00~17:00 9月19日 (水) 18:00~20:00 9月21日 (金) 18:00~20:00
フィールドワーク	12時間		8月22日 (水) 13:00~17:00 9月 3日 (月) ※13:00~17:00 9月 7日 (金) 13:00~17:00	※都合により変更の可能性もございます

※当初予定していた9月4日(火)から9月3日(月)に変更となりました。

受講申込み／会場

受講のお申込みは、CSAJ Webサイトで受け付けます。

http://www.csaj.jp/activity/project/souzou_pgm/H30_1_gaiyou.html

Home > アクティビティ > 協会が実施する事業 > ビジネス創造プログラム > 申込み

<お申込み期限> 平成30年6月15日（金）15:00まで
（ただし、定員に達し次第締め切ります）

<参加のご案内>

お申し込み後3営業日以内に、参加のご案内をメールにてご連絡致します。

<受講料のお支払い>

お申し込み後、受講料（¥98,000（税別））の請求書をお申し込み時にご記入いただいた住所に送付いたしますので、請求書に記載の期日までにお振込みくださいますようお願いいたします。

<会場>

ウチダ人材開発センタ 研修室

〒130-0015

東京都墨田区横綱1-6-1 国際ファッションセンタービル 7F

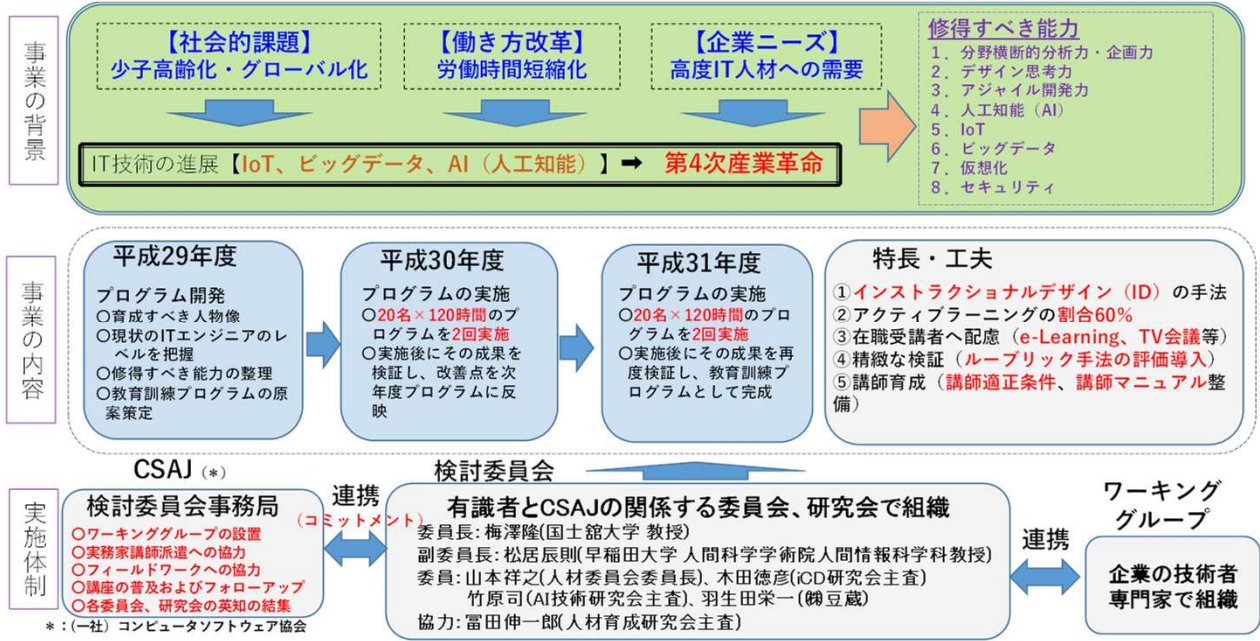
TEL 03-6658-5260



<高度IT技術を活用したビジネス創造プログラム事業とは>

厚生労働省が公募した、我が国の生産性向上のための高度IT技術等に関する教育訓練プログラムの開発の計画(平成29年度～平成31年度)において、IoT・AIなど第4次産業革命関係分野のエンジニアの学びなおしをテーマとした「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト」です。

<高度IT技術を活用したビジネス創造プログラム事業の概要>



【お問い合わせ先】

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 事務局 中野・山田

e-mail : edu_pjt@csaj.jp

TEL : 03-3560-8440 Fax : 03-3560-8441